

変化をそのがしてはいけません

自分の変化に気がつくとはおもしろい

別におつはるい セキもある

耳は白かいるのかやうにがさつく

夜中目がさめるとやたらかしのうやうやまのが

ある かくすかごは便所したテラシエがで

いつかいつに

鼻もふく あいてもふいても鼻はあ

こんどたいつたいどこからあとのが

それかフイルと あたりをえと有り 日常に

有り

何の不思議も感じない

それでもむしろかかせかたと思ひ

策をのむ 一度のんでもさう一層のんでも

変化はるい その奇をやめしする

変 ころはかせとまめとしする

あつ白氣をとりあらしきると三日か也 薬

そのむ かに 鼻は解消した

友達に知しりしはるい 函甲せきはあ

エ何回もする このどろ鼻水やあるあ

言う 私と同じことがあつた。既に

彼らは昔から鼻が切るいかりとのこと

たふん ~~花~~ 花ふん 花のせいにして

自らの変化をみわたしてしるう

三週何となく寒いから毛布を ^補 補足の正から

かたに あたふたかり しかし毛布は厚い

寒いんだけれうとこの子子厚甲していい

朝がた目がさけると 何か胸がくさしい

深呼吸をうう それでしのいでいた

呼 そしてひそかにこぼすかなと思つたり

していた

昨日重い毛布を胸の正からけわうた

梨だ それで寒くすい

毛布のかわりがいせけんトトあり

何じゆうが梨だ 手足をのぼす 体がゆが

くり出ると どうして金子くるしりか 気づ

くべきたうい

2021
1/24